

# バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】白老町バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )
		公表回	公表年月日				
24・17	2008.3.31	34	2009.4.30	北海道	白老町	20,749	425.75
構想の要約		産学官の緊密な連携のもと、白老町内から発生する廃棄物系バイオマスを活用するシステムを構築することにより、循環型・環境負荷低減型の地域社会形成を図りながら、地域の基幹産業の振興を軸とした経済の継続的な活性化を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		【化石代替用燃料の製造による利活用】 ■ 石炭代替燃料の製造(高温高圧処理装置) 【廃食用油の軽油代替燃料化による利活用】					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス						
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス			資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど			資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)	○	野菜等非食部				
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材		○		
廃食用油	○	果樹剪定枝				
水産加工残さ	○	竹材				
製材工場等残材	○	その他( )				
建設発生木材	○					
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○					
古紙・廃棄紙						
下水汚泥など						
その他( )						

利用するバイオマス変換技術						
マテリアル利用のための変換技術			エネルギー利用のための変換技術			
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○		バイオガス化(メタン発酵)			
飼料化			直接燃焼			
バイオマスプラスチック製造			ガス化			
その他(街路樹剪定枝の敷料)	○		炭化			
			固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)			
			バイオディーゼル燃料化		○	
			バイオエタノール化			
			その他(高温高圧処理)		○	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2010.07.27	平成19年～20年度: 白老町、家畜排せつ物、食品廃棄物、有機汚泥等、バイオマス固形化燃料製造施設の整備
2010.07.27	平成19年～21年度: (株)エポック・サービス、廃食用油バイオディーゼル燃料製造施設の整備

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

## バイオマス利活用目標 (バイオマスタウン構想書からコピー)

表なし

### (1) 利活用目標

廃棄物系バイオマスについては、廃菌床が100%、家畜排泄物が95%、有機汚泥が94%、製材工場等の残材や建設発生木材が93%に達しているが、家畜排泄物については、平成20年度以降、新たに企業進出した畜産農家が家畜排泄物の発生量を増加させることになるが、固形燃料化による事業所内利用や堆肥の広域的利活用により、発生量の全量を利活用する予定であるため、利用率に対する影響は生じない。

その他の廃棄物については、ほとんど利活用が進んでいない状況となっているため、廃棄物系バイオマスについては、バイオマス燃料化施設で対象とする廃棄物の全量が利活用できるものであることから、利活用可能な排出物について98%の利用率を目標とする。

また、BDF製造施設においては、町内の一般家庭から排出される廃食用油の50%の利活用を目標とする。

未利用バイオマスについては、街路樹剪定枝は家畜敷料に利活用されているが、林地残材については個別計画がなく利活用目標を設定できない状況にあるため、移動式木材粉碎処理機を使用して利活用できる方策を検討していくこととする。

## バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)

概要図なし

### 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)